

令和 8 年度進行管理 **戦略点検シート**

◎基本政策 3 活力と魅力あふれるまちの創造

主要課題	No. 35	都市交流の促進
------	--------	---------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●

主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	本区との交流都市をより身近に感じてもらい、文化・観光等の様々な分野での区民レベルの活発な交流が行われ、本区の魅力を再認識し、文京区への愛着がさらに形成されている。また、区民と外国人住民等との幅広い交流が進み、国際理解が深まっている。
計画期間の方向性	○海外都市との交流による国際理解の促進 区民の国際理解を促進するため、国際交流への関心を高めるための情報発信や異文化に触れる機会の創出及び充実を図ります。また、姉妹都市等の関係を深化させるため、交流事業を実施するとともに、新たな国際交流の可能性について、調査・研究を進めます。 ○文化・観光等の交流事業の拡充 交流自治体との住民レベルでの活発な交流が行われるよう、本区とゆかり等がある自治体と、文化・観光振興を軸とした交流事業等を継続的に実施するとともに、双方の魅力を発信します。また、オンライン等を活用した自治体間交流を検討し、有事の際に相互協力できるような強固な関係を構築していきます。

事業費（令和7年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称		所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
130	国際交流・海外都市交流事業		アカデミー推進課	区民と外国人住民との相互理解を深め、区民の国際理解を促進する。						31,900千円
										(44,243千円)
	主な取組実績			単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 都市交流フェスタ来場者数			人	1,300	4,785	6,079	14,110		
	② 国際交流事業及び留学生との交流事業参加者数			人	372	1,771	598	3,157		
	③ 訪問団等の派遣・受入れ実施回数			回	—	2	4	4		
	R5(2023)	都市交流フェスタは、シビックセンター及び礪川公園を一体とした事業へと規模を拡大し、また、国際交流事業では、トルコ写真展を開催し、参加者が大幅に増加しました（トルコ写真展参加者：1,426人）。海外都市の交流では、大韓民国ソウル特別市松坡区との職員の相互派遣を実施しました。								
R6(2024)	都市交流フェスタでは、ソウル特別市松坡区をはじめ交流都市に関係するブースを数多く出展しました。国際交流事業では、イスタンブール市ベイオウル区との友好都市締結10周年を記念して実施を予定していたトルコ区民ツアーの代替事業として、東京ジャーミイの見学等を含めたトルコ文化体験講座を実施する等異文化を体験できる事業を実施しました。海外都市の交流として、ソウル特別市松坡区との姉妹都市提携を行いました。									
R7(2025)	都市交流フェスタは、東京ドームシティ LaQuaを会場に加え規模を拡大しました。国際交流事業ではイスタンブール市ベイオウル区との友好都市締結10周年を記念し、トルコの音楽と文化体験が楽しめる「トルコフェスタ」を開催したほか、ベイオウル区と写真展を同時開催しました。あわせて大韓民国ソウル特別市松坡区との姉妹都市提携を記念した区民ツアーの実施や、文京区内の合同チームとのサッカー交流試合を行いました。海外都市との交流として、フランス共和国パリ市5区との覚書を締結し、通州区訪問団の受け入れを行いました。									
131	国内交流事業		アカデミー推進課	文化・観光分野等における自治体間の交流を充実するとともに、住民レベルの交流を促進する。						2,533千円
										(7,926千円)
	主な取組実績			単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 全国自治体と連携した交流事業実施件数			件	143	169	156	135		
	② 国内交流・連携事業補助事業実施件数			件	5	5	4	—		
	③ 国内交流自治体食材購入費補助事業実施件数			件	16	9	9	—		
	R5(2023)	時代まつりin文京及び都市交流フェスタ等で自治体連携し、また、令和6年能登半島地震の復興支援事業を友好交流都市の金沢市と開催しました。								
R6(2024)	各種事業において、協定等締結自治体の物産展への出展及びパネル展示等による文化紹介事業等を実施し、協定締結自治体との交流を広くPRしました。									
R7(2025)	継続的な交流に発展しないなど、事業開始時の趣旨を達成することが困難となったため、国内交流・連携事業補助事業及び国内交流自治体食材購入費補助事業は事業廃止となりました。協定等締結自治体との交流事業の一環として日帰りバスツアーの実施、物産展の開催及びパネル展示による文化紹介など、積極的に協定等締結自治体との交流を図りました。									

132	文の京文化発信プロジェクト		アカデミー推進課	住民相互の交流を図り、本区の魅力の再発見やその発信につなげる。					951千円 (1,892千円)	
	主な取組実績			単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 啄木学級 文の京講座参加者数			人	102	270	213	221		
	② 石見神楽参加者数			人	中止	中止	522	454		
	③ かなざわ講座参加者数			人	73	39	25	41		
	R5(2023)	啄木学級文の京講座は、盛岡市友好都市協定5周年記念として著名文化人を講師に招いて開催しました。								
	R6(2024)	かなざわ講座では、金沢市友好交流都市協定5周年を記念して、加賀藩邸があった東京大学のキャンパスツアーを行いました。								
R7(2025)	啄木学級文の京講座では、岩手県出身の作家による講演を開催しました。かなざわ講座では、加賀宝生流を題材とした講演を開催しました。									
133	山村体験交流事業		区民課	交流事業による住民同士の交流を促進する。					5,367千円 (5,426千円)	
	主な取組実績			単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 山村体験交流事業数			件	20	21	22	22		
	② 山村体験交流事業参加者数			件	444	565	621	605		
●特記事項（実績の補足）										

2 社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
無	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	

3 成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
○海外都市との交流による国際理解の促進	
友好都市イスタンブール市ベイオウル区と連携し、トルコ写真展の開催及びトルコフェスタの実施など区民が海外文化に触れる機会を創出するとともに、交流都市の認知度向上を図り、区民の異文化理解へ向けた事業を実施しました。また、姉妹都市ソウル特別市松坡区と連携した都市交流フェスタへのブース出展及び区内留学生団体とともにやさしい日本語を用いた留学生との交流会を開催する等、区民及び区内在住外国人の交流機会を創出し、国際理解の促進に努めました。 姉妹都市カイザースラウテルン市と連携したホームステイ生徒交換事業については、生徒の受入れを実施しました。また、フランス共和国パリ市5区とは令和元年度から開始した駐日フランス大使館との交流を契機とし、令和7年7月に友好交流に関する覚書を取り交わしました。 今後も引き続き世界情勢等を注視しながら、事業の在り方を検討するとともに、オンラインでの交流事業の併用方法も検討しながら、現在の環境下において最も有効な交流方法を見極め、区民の国際理解促進に資する事業を実施します。	
○文化・観光等の交流事業の拡充	
玉名市とのミニトマト苗植え体験並びに金沢市との「氷室の雪氷」贈呈式及び水戸市や甲州市への日帰りバスツアー等、区民が交流自治体の魅力を体験することができる連携事業を実施しています。今後も行政間の友好交流関係を深めながら住民レベルでの活発な交流につなげることができるよう、事業の在り方を検討していきます。 山村体験交流事業は、田植えや稲刈り等の体験を通して、参加した区民と地元の方々との住民レベルの活発な交流が図られています。	

●国際交流都市等・国内交流自治体（令和8年7月現在）

国外	ドイツ・カイザースラウテルン市	
	トルコ・イスタンブール市ベイオウル区	
	中国・北京市通州区	
	韓国・ソウル特別市松坡区	
	フランス・パリ市5区	
	駐日ベナン大使館	
国内	岩手県盛岡市	茨城県水戸市
	茨城県石岡市	茨城県常総市
	東京都新宿区	新潟県魚沼市
	石川県金沢市	山梨県甲州市
	島根県津和野町	広島県福山市
	福岡県北九州市	熊本県
	熊本県熊本市	熊本県玉名市
	熊本県上天草市	沖縄県うるま市

資料:アカデミー推進課 作成

●全国自治体との交流事業件数

		令和3	4	5	6	7年度
事業 内 容	物産展	4	36	51	57	43
	自治体PR	12	11	17	19	23
	ツアー等	1	1	3	2	4
	学校事業	4	5	5	7	5
	文化事業	5	13	10	37	35
	産業振興	10	12	19	10	0
	災害時応援	0	0	4	1	2
	その他	17	65	60	23	15

(単位:件)

資料:アカデミー推進課 作成

【SDGsの視点】



国内交流自治体に関連する文化講座事業等を開催するとともに、海外都市及び各国大使館等と連携した海外文化に触れる事業等を実施し、区民が様々な国内外の文化に触れ、学ぶ機会を創出しました。山村体験交流事業は、住民レベルの活発な交流が図られています。



国内外の協定締結等自治体、区内関係団体及び各国大使館等と協力し、物産展及び文化事業等を実施しました。山村体験交流事業では、様々な体験を通して、住民レベルの交流を図り、持続可能な社会の構築を目指す必要があります。

4 今後どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。

国際交流については、各都市担当者及び駐日大使館等関係団体との連携を一層強化し、文化講座をはじめとした多様なイベント形態による事業を実施することで、区民が国際文化に触れる機会を創出します。

国内交流については、交流自治体との連携事業など、区民が各自自治体の魅力を体感することができる事業の実施を通じて、より自治体間の関係を強固にするとともに、区民への交流自治体の魅力発信及び認知度向上を図り、住民間交流への発展を目指します。また、災害時等有事の際に協力できる関係構築を行います。

山村体験交流事業については、参加者の声をもとに、季節ごとのメニューを見直しながら実施していきます。

●デジタル田園都市構想総合戦略重要業績評価指標(KPI)

指標	単位	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2027) (目標)
全国自治体との交流件数	件	169	325	460			545
単年度実績		169	156	135			